

温州みかん サンビオティック施肥・病虫害防除基準(ドローン用) 案

【Ver.2025.10.1】

	月	日	作業内容						注意事項	
			肥料・薬剤名	成分名	目的	カウント	使用方法・使用量(10a)	施用方法		
形態的 花芽分化	1月	10	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽促進		100倍	10L	花芽充実し着果率向上のため、尿素、コースゴールド、及び海王を葉面散布する。葉が黄色い場合は、マジ鉄200倍を混用する。	
			コースゴールド	0-8-5			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			
		20	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽促進		100倍	10L		マシン油の散布をする場合は、手散布で実施。
			コースゴールド	0-8-5			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			

花芽充実	2月	10	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽促進		100倍	10L	葉面散布	花芽充実し着果率向上のため、尿素、コースゴールド、及び海王を葉面散布する。葉が黄色い場合は、マジ鉄200倍を混用する。
			コースゴールド	0-8-5			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			
		20	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽促進		100倍	10L	葉面散布	
			コースゴールド	0-8-5			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			

樹液流動	3月	5	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽充実		100倍	10L	葉面散布	花芽充実し着果率向上のため、尿素、コースゴールド、及び海王を葉面散布する。葉が黄色い場合は、マジ鉄200倍を混用する。
			コースゴールド	0-8-5			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			
		15	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽充実		100倍	10L	葉面散布	
			コースゴールド	0-8-5			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			
		20	IC ボルドー66D	塩基性硫酸銅	かいよう病	0	2倍 or 4倍	10L or 20L	葉面散布	かいよう病防除は発芽前に実施し、新葉の感染を防止する。マシン油未散布の場合は、かいよう病防除後(20日空ける)、マシン油散布(3月中旬以降)の順に防除実施する。

発芽・展開期	4月	5	デランフロアブル	ジチアノン	そうか病	1	20倍	10L	葉面散布	そうか病防除として発芽直後に散布。トップジンMゾル、ロンセラフロアブルでもOK。多発園では、4月下旬に再度散布する。減農薬園では、ICボルドー66Dでも良い。 本格にがりは、葉の強化と緑化促進。マジ鉄により緑化促進、花器充実により、生理落果の軽減。	
			ダントツ水溶剤	クロチアニジン	アブラムシ、ハモグリ	1	48倍				
			本格にがり	ミネラル	緑化促進 花器充実		200倍				
			マジ鉄	微量要素			500倍				
		15	尿素	46-0-0	緑化促進 花器充実		100倍	10L	葉面散布		新葉展開期、花器充実期のため、ミネラルを葉面散布する。
			本格にがり	ミネラル			200倍				
			マジ鉄	微量要素			500倍				

開花期	5月	10	ナティーボフロアブル	テブコナゾール、トリフロキシストロビン	灰色カビ、そうか病、黒点病	2	32倍	10L	葉面散布	ナティーボフロアブルの効果的な散布時期(満開期～落弁期の間)に散布する。減農薬の場合は、灰色カビ病防除のため開花期～落弁期に、エコショットを数回散布する。(高濃度散布の適用なし。)訪花昆虫及びスリップスは、エクシレルSE、またはダントツ水溶剤(48倍)またはスミチオン乳剤(10倍希釈)を使用する。エクシレルSEの適用は、開花期までの散布となっているので注意。
			エクシレルSE	シアントラニリプロール	スリップス、訪花昆虫	1	100倍			
			本気Ca	Ca8.95 B1.5	生理落果軽減 果実品質向上 緑化促進		100倍			
			マジ鉄	微量要素			500倍			
生理落果		25	デランフロアブル	ジチアノン	黒点病、そうか病	1	20倍	10L	葉面散布	必要な場合のみ散布する。降雨の多い年には、この時期から黒点病のリスクが高まるためデランフロアブル又はICボルドー66Dを散布する。(ICボルドーとモベントは混用・近隣散布不可)5月下旬はカイガラ、サビダニ、スリップス、チャノホリダニ等防除適期。
			モベントフロアブル	スピロテトラマト	貝殻、サビダニ、スリップス	1	50、80倍			
			本気Ca	Ca8.95 B1.5	生理落果軽減 果実品質向上 緑化促進		100倍			
			マジ鉄	微量要素			500倍			

生理落果	6月	10	ジマンダイセン水和剤	マンネブ75%	黒点病	1	10倍	8L	葉面散布	ジマンダイセンは、降雨150～200mlで残効が弱くなるので降雨計を設置して観察する。アピオンEを添加すると耐雨性が高まるが、ドローンの液滴サイズは大きくなる傾向があるため、かなり薄く使用するか、液滴サイズの設定はより小さくする。6～9月はゴマダラカミキリムシに常時注意する。リスクの高い園地では、モスピラン顆粒水溶剤の高濃度(200～400倍)主幹株元散布を実施する。減農薬園では、カミキリムシにはパイオリサ・カミキリの使用も良い。 ハダニの発生が著しい場合は、ダニコングフロアブル(24倍)を混用する。ダニコングフロアブルは、天敵昆虫に優しい。
			アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリト	スリップス、ゴマダラカミキリ	1	40、80倍			
			本気Ca	Ca8.95 B1.5	生理落果軽減 果実品質向上 緑化促進		100倍			
			マジ鉄	微量要素			500倍			
液胞 発達	6月	25	本気Ca	Ca8.95 B1.5	生理落果軽減 果実品質向上 緑化促進		100倍	10L	葉面散布	二次生理落果は、長雨・曇天などの日照不足で助長される。葉の光合成能力を高め、炭酸同化作用を高めることで、生理落果の軽減と、果実品質の向上を促す。
			マジ鉄	微量要素			500倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			

肥 大 期	7月	10	ジマンダイセン水和剤	マンネブ75%	黒点病	1	10倍	8L	葉面散布	カイガラムシ類が見られる場合は、コルト顆粒水和剤(40倍)を混用する。コルト顆粒水和剤は、アブラムシのみの適用であるが、カイガラムシ類もついでに死んでくれることが期待でき、また天敵への影響も少ない。 チャノホコリダニが多い場合は、ダニゲッターフロアブル(24倍)を混用。 イーオスは乾燥、高温に対するストレス耐性を向上させる。樹勢が低下している場合や、肥大が遅い場合は尿素100倍を加用する。
			ミネクトエクストラSC	シアントラニリプロール、ルフェニロン	ゴマダラカミキリ、ハモグリ、スリップス	2	160倍			
			コースゴールド	0-8-5	果実品質向上		200倍			
		20	本気Ca	Ca8.95 B1.5	果実品質向上 光合成向上		100倍	10L	葉面散布	葉の光合成能力を高め、炭酸同化作用を高めることで、生理落果の軽減と、果実品質の向上を促す。 イーオスは、暑さによる疲労や樹勢低下を予防し、根の吸水力を高める。
			マジ鉄	微量要素			500倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			
			イーオス	酢酸15%			100倍			

果 実 肥 大 期	8月	1	ジマンダイセン水和剤	マンネブ75%	黒点病	1	10倍	8L	葉面散布	ゴマダラカミキリが多い園地では、ミネクトエクストラSC(160倍)または、アクセルフロアブル(12倍)を混用する。ミネクトエクストラSCの方が、天敵に優しい。 樹勢が低下している場合や、肥大が遅い場合は尿素100倍を加用する。
			本気Ca	Ca8.95 B1.5	果実品質向上		100倍			
		20	ジマンダイセン水和剤	マンネブ75%	黒点病	1	10倍	8L	葉面散布	ジマンダイセンは計4回までなので注意。 浮皮多発品種では、8月中旬以降～9月下旬にクレフノンまたはセルバインを2回手散布する。 5月下旬、および8月中旬～下旬のモベントフロアブルによりカイガラムシ類の防除効果が高い。
			モベントフロアブル	スピロテトラマト	カイガラ、サビダニ、チャノホコリダニ、スリップス	1	50倍			
			本気Ca	Ca8.95 B1.5	果実品質向上		100倍			

果実肥大最盛期	9月	1	ナティーボフロアブル	テブコナゾール、トリフロキシストロビン	そうか病、黒点病、貯蔵病害	2	32倍	10L	葉面散布	8月下旬～9月上旬に散布。雨が多い場合は、黒点病防除も。ジマンダイセン4回以降は、デランフロアブル(3回まで、収穫前30日前まで)、またはナティーボフロアブル(3回まで、収穫前日まで)を使用する。後期黒点まで注意する。暑さが和らぎ、ダニ類、スリップス、カイガラムシ、カメムシ、ゴマダラカミキリなど、害虫防除の重要時期。肥大が悪い場合は、尿素100倍希釈を混用。
			ダントツ水溶剤	クロチアニジン	スリップス、カメムシ、ゴマダラカミキリ、カイガラ	1	48倍			
			ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン	サビダニ、ハダニ、アザミウマ、カメムシ	1	30倍			
			本気Ca	Ca8.95 B1.5	果実品質向上		100倍			
		15	本格にがり	ミネラル	果実品質向上 食味向上		200倍	10L	葉面散布	これ以降は、汚れ予防のため、本格にがり＋イーオスでカルシウムを効かせる。収穫が近い場合は汚れ予防のため、海王は3000倍希釈以上とする。
			イーオス	酢酸15%			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			

生理的花芽分化後期	10月	1	ナティーボフロアブル	テブコナゾール、トリフロキシストロビン	そうか病、黒点病、貯蔵病害	2	32倍	10L	葉面散布	デランフロアブル(3回まで、収穫前30日前まで)、ナティーボフロアブル(3回まで、収穫前日まで)の規定に注意。 果皮の着色に伴って、液肥はやや薄めに使用する。収穫2週間前には、海王は3000倍希釈以上、本気Caは500倍希釈以上とする。(汚れ防止のため。)
			アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド	カメムシ、ハモグリ	1	40倍			
			コーソゴールド	0-8-5	果実品質向上		200倍			
		20	本格にがり	ミネラル	果実品質向上 食味向上		200倍	10L	葉面散布	収穫が近い場合は汚れ予防のため、海王は3000倍希釈以上とする。
			イーオス	酢酸15%			100倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			

根の伸長後期	11月		本格にがり	ミネラル	腐敗防止 果実品質向上		200倍	10L	葉面散布	汚れ防止のため、本気Caではなく、本格にがり＋イーオスでカルシウム、マグネシウムを効かせる。マジ鉄と海王は着色促進。
			イーオス	酢酸15%			100倍			
			マジ鉄	微量元素	着色促進		500倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			
		15	ベルコートフロアブル	イミノクタジナルベシル酸塩	腐敗防止	1	20倍	10L	葉面散布	収穫前の貯蔵腐敗防止のため、ベルコートフロアブルとベンレートフロアブルの混用。農薬との混用の場合は、イーオスは薄め。
			ベンレート水和剤	ベノミル		1	60倍			
			本格にがり	ミネラル	腐敗防止		200倍			
			イーオス	酢酸15%	果実品質向上		500倍			
			マジ鉄	微量元素	着色促進		500倍			
			海王	海藻エキス			1000倍			

樹勢回復	12月	1	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽分化促進		100倍	10L	葉面散布	樹勢回復対策。尿素、マジ鉄で、葉色の回復と花芽分化促進。本格にがりは、マグネシウムの供給と、低温耐性を高める。冬季低温の地域では、これにイーオス100倍を混用しても良い。 収穫後は、できれば菌力アップ、糖力アップ、コーソゴールドの液肥灌水もお勧め。
			本格にがり	ミネラル			200倍			
			マジ鉄	微量元素			500倍			
		15	尿素	46-0-0	樹勢回復 花芽分化促進		100倍	10L	葉面散布	
			本格にがり	ミネラル			200倍			
			マジ鉄	微量元素			500倍			

※九州地区、早生(11/20収穫)を基準とした防除暦です。品種や地域によって、時期は勘案してください。

※固形肥料の施肥や、液肥等の灌水作業の施肥設計については、サンビオティック「温州みかん・中晩柑栽培マニュアル」をご参照ください。

※あくまでもこの基準は計画提案であり、葉害等の有無について十分な試験結果に基づくものではありません。弊社では散布結果に一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

※天候不順、天災や、害虫の異常発生など大きな被害が出そうな場合、手散布を実施するなど臨機応変に対応してください。

- ＜ポイント＞
- ・この栽培暦は、ドローンによる防除や、液肥の葉面散布を体系化したものです。
 - ・手散布やSS散布と比較して、ドローンによる液肥の葉面散布効果は劣ります。あくまでも、追加的な栄養補充であり、基本は土作りにより対策することが原則です。
 - ・ドローンの場合は、散布量が少ないため、比較的葉面散布効果が上がるとされる微量元素やカルシウムを中心に液肥を設計しています。
 - ・**農薬と液肥の混用事例については、まだ試験が不足しているため慎重に行ってください。**
 - ・ドローンにより葉の裏面や内部まで薬剤が付着するために、透かし剪定を行い、また密植園地では間伐して独立樹に整えます。その方が受光状態が改善し、全体として収量も向上します。

2025年10月1日

Sunbiotic
農業資材のサンビオティック

株式会社大地のいのち
長崎県西海市西彼町中山郷1968-2